



同窓会会報

発行
福島成蹊高等学校
同窓会
福島市上浜町5-10
電話 (522) 2049
発行人 石井 都
印刷所 ㈲三共印刷所



『資料展示室』（東校舎1階 旧同窓会室）



魅力ある会の運営を目指して

同窓会会長 石井 都
(昭和41年度卒)

会員の皆様には、ますますご健勝の事と、お喜び申し上げます。

昨年二月二十九日本校山田記念体育館において同窓会入会式を行いました。二百七十二名の希望に満ち溢れた生徒さん達を迎える事ができました。その凛とした佇まいに、いつか会の運営に力を貸してくれる日が必ず来る事を確信致しました。

六月十二日、グリーンパレスで総会を行いました。今年も昭和二十一年より平成二十七年卒業の、幅広い年代の方々そして、お懐かしい恩師の皆様がお見えになりました。役員改選を行ない六名の方がお辞めになりました。この方達は創立百周年記念事業及び記念行事に力を尽くして下さいました。今度は会員として総会に来て頂けたら役員一同心強い限りです。

新役員八名の内、初めて男性三名が加わり十七名で魅力

ある会の運営に更なる努力を重ねる決意を致しました。

アトラクションは全日本ギターコンクール金賞受賞のギター部の演奏を羽田友彦先生の指揮で心行くまで楽しみました。金賞の上を目指したいと顧問の吉田清人先生の力強い言葉にギター部の益々のご活躍を祈念しております。

ひととき学生時代に戻り校歌斉唱し、いつまでもお元気でと恩師の皆様をお見送り致しました。

この度創立百周年記念事業の全てを終えた事を御報告します。南校舎建設資金募金に際しましては、早々と目標額を達成する事ができました。これも一重に皆様様の母校愛と後輩への温かい思いやりの賜物と厚く御礼申し上げます。今後とも更なる御指導、御支援、よろしくお願い致します。

クラス会を開いて

阿部 陽子

(昭和49年度卒)

還暦を迎えるにあたり、四十年振りに平成二十八年六月十八日、担任の島貫先生は所要があり出席いただけませんでした。が、三年六組の級友二十三名が集いクラス会を開催致しました。

再会した瞬間に四十二年の月日を忘れ、当時の自分に戻れることに感激しました。心は十八歳、笑う声は？歳でしたが、当時の思い出話に盛り上がり楽しい時間を共有することができました。

子育世代を経て、介護世代に入りましたが健康で明るく過し、二年後の再会を約束し閉会しました。



S49年度 卒業アルバムより



S61年度 卒業アルバムより



S61年度 卒業アルバムより

斎藤 綾子

(昭和61年度卒)

六月に行われた同窓会総会で十数年ぶりに担任の先生と級友と再会しました。

「近いうちにクラス会をやりたいね。」が約二ヶ月後の八月十六日に連絡をとれた人だけでの少人数でしたが、ミニミニクラス会を先生を囲んで開催しました。

先生は、当時のクラス一人一人の顔写真を持って来られ、ある友人は、卒業時の文集や当時の先生方の写真を持って来ました。

なつかしい話がでるなかで「誰だったっけ。」も「どんな先生だったっけ」も写真を見るたびに「あつ、そうそう。」と昔を思い出し大声で笑ったり、昔のまま変わらない級友と楽しい時間を過ごしました。飾らず、すんなり昔に戻れる先生と仲間。改めて「素敵だな。」と感じました。次の再開が楽しみです。



坂田まりな

(平成18年度卒)

毎年恒例のバーベキュー。懐かしい仲間に出会うことで、日々の疲れもどこかに行ってしまう。

今年は初めて、友達がお嫁さんを連れてきました。高校を卒業し十年。もうそんな歳か！と思いつつも、仲間が増えて行くことが楽しみです。



今でもクラス全体で仲良しなのは、自分の子供のように私達の事を真剣に考えてくれる、そんな恩師の存在があったからこそ。

恩師も大切にしているバーベキューの日。これからも私達の笑顔で、大切な恩師の笑顔を守っていきます。

木下 秀平

(平成27年度卒)

今年の八月十三日、十四日に、一泊二日の同級会を開催しました。平成二十七年に卒業した三年五組の友人、三十四名中、三十一名が参加しました。お盆の忙しい時にこれだけの友達、そして元担任の信野先生も参加してくださる嬉しく感じると共に、クラスの団結力の強さを実感しました。多くのことを成し遂げてきた三年五組の友人達と再び同じ時間を過ごせて、本当にいい思い出になりました。今後毎年数回、再集合していこうと思います。





ご挨拶

理事長 高橋 幸七

四年前、学園創立百周年の記念すべき大きな節目に当たり、関係の皆様全員でキャッチフレーズ「世代をつなぐ桃李の絆」を確認し合う中、十三に及ぶ記念事業に着手、七月の「高校南校舎募金事業」の完了をもって、そのすべてを終えることが出来ました。この間、同窓会の皆様から絶大なご協力を頂戴出来たからこそ各種事業の完遂に至ったものと、常日頃からのご支

援に併せ、この場をお借りし深く感謝申し上げます。（八月発行の「学園だより」参照）同窓会そして地域の皆様のご期待に応えるべく、品格高き「次なる桃李の人」の育成に向け、創立百四年目に在籍する役員・職員一同、持てる力のすべてを注ぐことを改めてお約束申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



『同窓会の先人に習う』

校長 本田 哲朗

同窓会の会員の皆様方には、常日頃、物心両面に渡るご支援を賜り、衷心から御礼を申し上げます。

ました。この事は背後にある教育の普及と無関係ではありません。本年、同窓生『富田マッさん』の奨学金を役立て、大学進学を果たした生徒が二十名を超えました。銘々は贈呈式でのマッさんから励ましの言葉を胸に刻み、人材となるべく努力すると信じています。

本校同窓会員の皆様方に於かれましては、昨今の世界の政界での女子宰相の活躍に関心が向かうものと思います。例えば近隣の台湾では蔡小英氏が総統に選ばれ、英国でもメイ氏が首相に就任しました。また、我が国に於いても、初めて女性東京都知事が誕生し

福島成蹊高等学校同窓会一般会計決算書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

1. 収入金額 2,515,412 2. 支出金額 1,581,343 3. 差引金額 934,069

収入の部

(単位：円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	適用
会費	1,324,000	1,316,000	△8,000	4,000×331人
運営協力費	53,200	53,200	0	26年度協力費より
預金利子	500	236	△264	普通預金・定期預金利子
雑収入	200,000	387,400	187,400	総会会費等・名簿売上等
繰越金	758,576	758,576	0	前年度より繰入
合計	2,336,276	2,515,412	179,136	

支出の部

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	適用
事業費	800,000	586,942	△213,058	総会、研修会、桃李祭
会議費	100,000	50,325	△49,675	役員会、幹事会
会報発行費	200,000	155,736	△44,264	会報第22号
協力費	300,000	262,380	△37,620	全国大会祝金、卒業記念品等
交誼費	50,000	12,200	△37,800	慶弔費
通信費	100,000	212,415	112,415	切手、名簿補助等
旅費	0	0	0	
事務費	200,000	76,613	△123,387	印刷費、事務用品等
特別積立費	200,000	200,000	0	
予備費	386,276	24,732	△361,544	プリンター
合計	2,336,276	1,581,343	△754,933	

特別積立金（平成28年3月31日現在） 7,141,708円

運営協力費（平成28年3月31日現在） 124,760円

上記帳簿及び関係書類について監査の結果正確であることを認めます

平成28年4月28日 会計監査 増沢 ナミ 杉内 文子

会務報告

平成27年

4月9日	入学式出席
11日	定例役員会 会報第21号発送
5月9日	定例役員会
20日	会計監査
6月13日	墓参(初代・4代校長) 定例役員会
21日	同窓会総会開催 (母校 吹奏楽部演奏)
7月11日	定例役員会及び総会反省会
9月6日	桃李祭
11月14日	定例役員会

平成28年

1月8日	定例役員会 新幹事顔合わせ
2月13日	定例役員会
29日	同窓会入会式
3月1日	卒業式出席



平成28年度 福島成蹊高等学校同窓会総会・懇親会

平成28年6月12日（日） 於：福島グリーンパレス



佐藤 真紀

（昭和56年度卒）

お陰様で、私達は今回、五人だけの、ささやかなクラス会を行う事が出来ました。私達の頃とは目まぐるしく変わりが立派な成蹊を見ることが出来る、アトラクションの子供達の頑張りを見たとき懐かしい学生時代が甦り、先生方との再会で思いがけず、素敵な一日となりました。皆様も私達の様に、この場を使つてはいかがですか？



小室 志穂

（平成6年度卒）

今までずっと気になっていた同窓会総会に初めて出席させていただき、もつと早くから参加していれば良かったと思います。先生方にもお会いして20年前にタイムスリッ プした様な懐かしい気持ちになり、素敵な先輩方とお話も出来本当に成蹊が母校で良かったと思える貴重な一日でした。来年もぜひ出席したいと思っています。



幕田 響

（平成27年度卒）

同窓会総会に参加させていただき素敵なひと時を過ごすことができました。女学校の頃の話も何うことができた歴史の中で育まれてきたことが今の成蹊高校に繋がっていると感じました。また級友との思い出話や恩師との再会を喜んでいらつしやる様子も拝見し温かい気持ちになりました。

平田 瑞希

（平成27年度卒）

今回初めて同窓会総会に参加しました。当日は先輩方ばかりでとても緊張していましたが皆さん温かく迎えてくださり、リラックスすることができました。また、私は在中ギター部に所属していたので、先輩達の演奏を聴いて懐かしい気持ちになりました。次回も是非参加したいです。



佐藤 晶子

（昭和61年度卒）

友人からの誘いと会報をみて、同窓会へ参加しました。緊張しながら会場へ向いましたが、何十年ぶりの再会とは思えない程、恩師や友人と話が弾みました。また、ギター部の見事な演奏に感動。男子生徒の姿を見て、母校の新たな一面に驚きました。今後の活動を応援しております。



旧役員の皆様ありがとうございました

会計監査 増沢 ナミ

（昭和39年度卒）

母校創立百周年の年に、役員をさせていただきました。同窓会の発展をお祈りします。

会計監査 杉内 文子

（昭和54年度卒）

役員として十一年間、色々な行事に携わる事が出来、貴重な経験をさせて頂きました。同窓会の発展をお祈りします。

会 計 高野 豊子

（昭和42年度卒）

長い間お世話になり、何事もなく退任する事が出来て、感謝しております。新役員の活躍を期待します。



常任幹事 大関 昭子

（昭和48年度卒）

在任中、栄えある百周年記念行事に携わらせていただき、感謝申し上げます。母校と同窓会の弥栄を御祈りいたします。

事務局 中島 千代

（昭和39年度卒）

役員在籍中母校の百周年行事に係われた事とても嬉しく誇りに思っております。一新した同窓会にとっても期待しております。ありがとうございました。

事務局 菊地美和子

（昭和55年度卒）

同窓会活動を通して先輩方から様々な事を学びました。この様な機会を頂きましたこと感謝申し上げます。



新 役 員

名誉会長

渋谷スズイ（昭和30年度卒）

顧問

丹野 リン（昭和21年度卒）
益田 幸子（昭和28年度卒）
上枝 治代（昭和22年度卒）
斉藤 ヨシ（昭和23年度卒）
浅野 良子（昭和36年度卒）
須田カヨ子（昭和41年度卒）
小林 征子（昭和35年度卒）

会長

石井 都（昭和41年度卒）

副会長

山科 直枝（昭和53年度卒）

会計監査

関根 綾子（昭和55年度卒）
渡邊八千代（昭和48年度卒）

会 計

斎藤 綾子（昭和61年度卒）
矢吹はる香（平成9年度卒）

書記

本田 文子（昭和47年度卒）
佐藤 文恵（昭和48年度卒）

幹事長

渡辺美喜子（昭和55年度卒）

常任幹事

千葉 良彦（平成21年度卒）

事務局

木村 淳子（昭和49年度卒）
甚野 絵美（平成17年度卒）
渡邊 愛（平成17年度卒）
穴澤あすか（平成18年度卒）
寺島 白龍（平成18年度卒）
唯木 祐人（平成21年度卒）
二階堂仁美（平成21年度卒）

平成二十八年進路状況

進路指導部部長 増子 裕一

今年度の入試は国公立大学の改組や改革が進み、受験生にとっては受験科目の負担増になっている部分も多く見られました。私立大学については、インターネッ ト出願が進み、本校生も多くの生徒が出願しています。文系人気、英語を重視する試験制度の導入など、社会的な流れは本校生にも影響を与えています。生徒・保護者・教員と連携をしつかりと取りながら進路活動を進めてきました。

2学期から本格的にスタートした推薦・AO入試で特筆すべきは、福島大学にAO入試3名、推薦入試3名が出願し、6名全員が合格しました。文部科学省管轄外の大学では超難関の気象大学に、本校では歴代2人目の合格者が誕生しました。私立大学では、慶應義塾大、明治大、法政大、成蹊大、東北医科薬科大などに普通コースから合格しています。日本大学や白鷗大学には二桁の合格者数に届いています。今後は一般受験で特進コースとともに多くの生徒の合格が見込まれます。3月7日からは国公立大学の前期試験合格発表が行われます。短期大学や専門学校でも多くの合格者が出ています。就職面では公務員試験において、ここ数年では最多の6名の合格がありました。地道な学習の成果になりました。今後も100%内定を目標に生徒を支援してまいります。

平成28年度 進路状況

平成29年2月15日現在（一部の学校のみ記載）

国公立大	10名	福島県立医科大医学部2名、山形大、福島大6名、長野大1名
文部科学省管轄外の大学等	11名	気象大学校、防衛医科大学校医学科、防衛大学校8名、海上保安大学校
私立大	252名	慶應義塾大、東京理科大、国際基督教大、明治大4名、法政大3名、学習院大、中央大5名、成蹊大4名、成城大2名、明治学院大3名、東京女子大4名、獨協大6名、武蔵大、玉川大、北里大2名、日本大19名、東洋大3名、駒澤大、専修大3名、昭和医大医学部、東北医科薬科大、国際医療福祉大8名（医学部1名）、東北学院大15名、東北福祉大7名 ほか
短期大学	28名	桜の聖母短大18名、福島学院大学短期大学校2名、郡山女子大短期大学校2名 ほか
看護医療専門学校	16名	大原看護専門学校4名、太田看護専門学校3名、福島看護専門学校3名、福島県立総合衛生学院2名 ほか
専門学校	49名	東北大学歯学部附属歯科技工士学校、日本外国語専門学校2名、福島県立テクノアカデミー会津 ほか
就職内定者	11名	東京消防庁、福島県警察官3名、自衛官一般曹候補生2名、小関小児科医院、(株)ヤクルト本社福島工場 ほか

平成27年度 合格状況

（一部の学校のみ記載）

国公立大	70名	福島県立医科大医学部、一橋大、東北大2名、北海道大、東京芸術大、東京学芸大、電気通信大、埼玉大2名、宇都宮大2名、茨城大3名、群馬大2名、新潟大4名、信州大、岩手大、弘前大、山形大5名、福島大19名、室蘭工業大、北見工業大、首都大東京、会津大3名、高崎経済大5名、新潟県立大3名、青森県立保健大、名寄市立大、公立鳥取環境大、山口東京理科大5名
文部科学省管轄外の大学等	11名	防衛大学校9名、職業能力開発大学校、国立宮古海上技術短期大学校
私立大	474名	慶應義塾大、早稲田大3名、国際基督教大、東京理科大10名、明治大7名、立教大3名、法政大11名、青山学院大2名、中央大13名、学習院大2名、立命館大3名、成蹊大6名、成城大2名、明治学院大、南山大、日本大39名、東洋大9名、駒澤大2名、専修大5名、北里大2名、東京薬科大、東北医科薬科大2名、日本赤十字秋田看護大、昭和大、国際医療福祉大10名、東北学院大21名、東北福祉大10名、神奈川大27名 ほか
短期大学	36名	山形県立米沢女子短期大、立教大学女子短期大、清泉女子短期大、創価女子短期大、桜の聖母短期大19名、福島学院大学短大校6名、郡山女子大学短期大学校 ほか
看護医療専門学校	15名	大原看護専門学校3名、太田看護専門学校2名、福島看護専門学校4名 ほか
専門学校	36名	東北電子専門学校2名、郡山情報ビジネス公務員専門学校2名、国際ビューティーファッション専門学校2名 ほか
就職内定者	8名	福島県職員、(株)セルラー電話サービス福島、(株)ハンドラッグ、(株)ホテル聚楽飯坂 ほか

キャンパスライフ

東京学芸大学教育学部



中澤 太郎
(平成27年度卒)

大学に入学して半年が経ちました。新しい友人や仲間達に恵まれ、私は充実した大学生活を過ごしています。大学での生活は講義二つの中にも新しい発見がいくつもあり、とても刺激的です。これからは今まで出来なかったたくさんすることに挑戦したいと思っています。中高六年間の経験を生かし、生活していきたいです。



大久保実季
(平成27年度卒)

大学生活も半年がたちました。入学当初は、大学生活に馴れることで手一杯でしたが、今では友人と共に充実した生活を送っています。短大での授業は、高校とは違いグループワークやプレゼンテーションなどアクティブラーニングが主で、日々多くのことを学んでいます。成蹊で学んだことを大学で生かし、さらに伸ばしていきたいと思っています。

クラブ紹介

特別活動部部長 鈴木 祥之
現在本校では、運動系11・文化系16、合わせて27のクラブが活動しています。運動系は、体育館大ホール・小ホール、第1と第2グラウンドを中心に日々練習に励み、上位大会への出場を目指しています。陸上競技クラブと水泳クラブが牽引役となり、その他のクラブも殆どが県大会以上に出場し、毎年成績を更新しているところでは、今年は南東北インターハイが開催され、本校もバスケットボール会場になります。これを機に、団体スポーツの更なる飛躍を目指しているところです。一方で、文化系クラブの躍進も目覚ましく、中でも、ギタークラブは25年連続の全国大会出場を果たしました。自然科学クラブも特筆すべき研究成果を残し、3年部員は優秀な大学進学実績も達成しています。また、将棋や詩吟の分野でも、個人で参加した生徒が全国高等学校総合文化祭に出場しています。

野球部

顧問 金子 淳

我々野球部は活動目標を「甲子園出場」活動目的を「人間形成」におき、日々活動しております。一時、部員10名と非常に厳しい時期もありましたが、現在は55名となり、昨夏の選手権では7年振りに勝利、今年度の秋季県大会も6年振りに出場と徐々にではあります。力がついてきております。

『ひたむきに爽やかに』をモットーに成蹊野球で皆さんを魅了することができるよう、そして球場で勝利の校歌を共に歌うことができるよう、今後より一層の努力を重ねて参ります。



華道部

顧問 大山 里美

華道クラブでは、龍生派福島県支部最高顧問の小武山花龍先生のご指導の下、10名の部員がお稽古に励んでいます。小武山先生は本校の卒業生でいらっしゃるだけでなく、創立・創部当時、お母様のご指導下さった跡を引き継ぎ、成蹊103年の歴史を支えてくださいました。先生のお花に対する深い愛情を間近に拝見しながら、季節の移ろいやお花の美しさを味わい、また生かす生け花をめざして、部員一同お稽古に励んでいます。これからも先生と共に成蹊の歴史を重ねていきたいと思えます。



書道部

顧問 明珍真由美

授業の時は「これを書きましよう」と課題を出してそれを生徒が書くということが多いのですが、部活動ですからまずは生徒の書きたい字、書いてみたいと思う文字を選ぶところから始めます。一つの作品を制作している時の様々ですが、試行錯誤は苦しみでもありますが、楽しみでもあり、筆は？紙は？墨は？構成は？と生徒とよく話し合います。そんな過程の中で生徒の柔軟な鋭い感性に触れ、刺激を受けながらの活動です。会場に展示できた時の達成感を励みに、これからも生徒と共に活動を充実させていきたいと思えます。



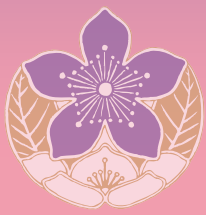
茶道部

顧問 菊田 光子

茶道部は週に2回、茶室「自蹊庵」にて裏千家のお手前の練習をしています。外部講師の齋藤緑先生の熱心なご指導のもと、立ち居振る舞いやお茶のいただき方といった基本から学んでいます。日頃の練習の成果を発表する場としては、文化祭や成蹊展のお茶席や私学フェアなどの催しで呈茶を行い、一般の方々の前で披露しています。

部員は18名でそのうち3名は男子部員です。ほとんどが初心者なので、和気藹々としたなかでお茶に親しみ、茶道を通じて日本文化に触れて行くことを目的としています。





校歌

わが学び舎の
名もゆかし
桃李の花の
匂へれば
ものいはねども
慕ひくる
かげやこみちと
なりぬべき

金剛石の
みさとしに
阿武隈川の
よどみなく
進みゆく世に
遅れじと
いそしむ技の
楽しさよ

作詞 坂内 萬
作曲 古関 裕而



十一組	十組	九組	八組	七組	六組	五組	四組	三組	二組	一組
柴 諷	佐 久	尾 木	清 水	佐 藤	佐 藤	菊 池	丹 治	田 代	佐 野	寺 島
山 桃	佐 芽	木 幸	形 遥	水 瑞	藤 真	藤 和	池 有	菜 柊	夏 愛	瑠 巧
花 葵	衣 祐	祐 翔	蓮 樹	樹 柚	菜 夏	愛 瑠	巧 斗	都 馬	成 治	栄 穂

新幹事

速報！同窓生の活躍

平成25年度卒の八巻雄飛君（国士館大学3年）が第93回箱根駅伝で3区を走りました。本校初の箱根駅伝選手が誕生しました。

箱根駅伝翌日には国士館大学陸上部長距離ブロックの主将になりました。来年の更なる活躍も期待されます。



平成29年度 総会のお知らせ

- 日 時／平成29年6月25日（日）
午前10時30分～
- 場 所／ホテル福島グリーンパレス
- 内 容／総会 懇親会
(アトラクション：吹奏楽部)
- 会 費／4,000円
- 問合わせ先／福島成蹊高等学校 同窓会事務局
TEL 024-522-2049



～ この場を利用してミニクラス会等を開いてみませんか？ ～

南校舎建設募金事業完了報告

平成25年2月から開始されました南校舎建設募金事業が平成28年6月末に完了いたしました。皆様方から多大なるご協力を戴きましたこと、心より感謝申し上げます。

募金額実績報告

募金目標額 五、〇〇〇万円
募金実績 四、七〇五万円
同窓会目標額 五〇〇万円
同窓会実績 五〇一万円
同窓会募金件数（二二八件）
(平成25年2月より平成28年7月まで)

事務局だより

会報23号は昭和40・50・60・平成8・13・27年度卒業の皆様へ送付いたします。今後も卒業年度を追って順次送付する予定です。皆様にご協力いただきました運営協力費は会報送付等に使用させていただきます。引き続きご協力お願いいたします。

また、クラス会開催の際は、名簿を事務局に提出して下さい。通信費として二千元を補助いたします。

追悼

平成28年2月25日
教諭 菅野亨先生
平成28年6月27日
事務長 富田和男様
ご逝去されました。
ご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

今回は、編集集中に同窓生の箱根駅伝出場という嬉しいニュースが入りました。
今後、このようなニュースがありましたらお知らせ下さい。